

第2回辰野町入札等審査委員会 議事録

平成21年11月17日（火）

午前10時～

役場第7・8会議室

1. 開 会（事務局）

2. 委員長あいさつ

（森本委員長）

近隣市町村の入札・契約制度について勉強しながら、町にとって今後進めていかなければならない方向性を理解し、また問題意識を共有しながら、より充実した委員会になるようにしていきたい。

3. 協議事項

（1）近隣市町村の入札・契約制度について（事務局）

経過及び現状

- ・ 辰野町の入札・契約制度の事務的作業の流れ及び入札制度の内容（諸条件等）を近隣市町村（伊那市・塩尻市・岡谷市・箕輪町・下諏訪町）と比較しながら解説。
- ・ 近隣市町村の総合評価方式、最低制限価格、低入札価格調査の導入状況。
- ・ 近隣市町村の発注標準表の解説。
- ・ 入札契約担当職員の専従について、市クラスでは専従職員が居るが、町村クラスでは他業務と掛持ちである。
- ・ 平成20年度一般競争入札における業種の管・水道施設は管工事一式として公告したが、平成21年度からはそれぞれ区分し公告している。
- ・ 国の制度改正等及び談合防止により一般競争入札を導入してきた市町村がほとんどであるが、県外の動向では、指名競争入札に戻して安全・安心な業者に依頼している。
→業者の絶対量が少ないので、それに対応していくには価格競争のみで良いのかが問題視される。

- 価格競争により倒産業者が増えれば、指名する業者が減ってしまうことが懸念される。
- 新たな事業分野を展開している建設会社等がある。
- 土木関係では、近隣市町村に比べ道路状況が悪いため改良等が増加の傾向にある。
- 建築関係（箱物建設等）では、国の事業に関連しているため国の動向によっては減少傾向に至る。

今後の検討課題等

- 本店のみならず支店をどうするのか（一般競争）。
 - 辰野町の本店数は近隣市町村に比べ少ない。
 - 各市町村の本店・支店の取扱が違う。
 - 市クラスは本店のみでも良いが、町クラスでは本店が少ない。
- 最低制限価格制度等の導入。
 - 価格競争だけでは業者の倒産増が懸念され、金融等への被害拡大。
 - ある程度の利益を業者に出してもらおう。
 - しかしながら、談合に繋がらないようにする。
- 辰野町に最低制限価格制度等を導入した場合はどうなるのか。
 - 次回、最低制限価格制度等を導入した場合の事例を示す。
- 総合評価方式の検討。
 - 近隣市町村の動向を踏まえたうえで検討する。
- 舗装工事の除雪要件は必要か。
 - 除雪機械の維持管理に負担を生じることもあり、要件を設定している。今後、業者数が減ることも考えられるため、緩和措置も必要なのでは。

(2) その他

次回、12月若しくは平成22年1月に開催予定。

4. 閉会（事務局）